



そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban

2026 年ももう 2 か月が過ぎました。ホントに月日が経つのは早いっ!さて、今年は午年(うまどし)ですが、正確な干支(えと)であらわすと 60 年に 1 度めぐってくる「丙午(ひのえうま)」。日本には昔から「くひのえうま」生まれの女の子は災いを招くという迷信がありました。科学的な全く根拠はありません。ただ、ふと思ったのが、「十干(じっかん)」と「十二支(じゅうにし)」を組み合わせると干支ができるなら 120 年に一度になるはず。どうして 60 年に一度なのか不思議だったので、少し調べてみたら、理由は 10 と 12 の最小公倍数的にそうなるから。説明するスペースが足りないから、興味のある方は次のサイトで分かりやすく説明しています。→『こよみる <https://koyomil.com/eto60-120/>』

第 431 回 全珠連主催 検定試験

試験日: 令和 8 年 1 月 25 日 (日) \*アイウエオ順



努力が実を結びました!

よくやった



そろばん				
珠算検定	名前	学校名	合格時の学年	教室
合格級				
1 級	小林美緒	牛久保小	6 年生	高見
	中末妃愛	南部中	1 年生	塔ノ木
2 級	石黒惺羅	牛久保小	6 年生	高見
	庄司彪吾	中部小	6 年生	塔ノ木
3 級	鈴木菜々花	牛久保小	4 年生	高見
暗算検定				
あんざん				
合格級	名前	学校名	合格時の学年	教室
参段	影山琴	牛久保小	6 年生	高見
準三段	小林美緒	牛久保小	6 年生	高見
	中末妃愛	南部中	1 年生	塔ノ木
	細田佳吾	小坂井東小	6 年生	高見
	吉田花凧	牛久保小	4 年生	高見
1 級	北國美怜	牛久保小	5 年生	高見
3 級	飯田悠華	中部小	5 年生	塔ノ木
	グエン・クーアン	金屋小	4 年生	塔ノ木



おめでとう!

前回(11月検定)に続いて今回の検定試験でも段位暗算に6名の生徒が挑戦、その中で5名が見事に昇段。段位になると、かけ算・わり算・みとり算の三種目ともそれぞれに級位と比べると難度が上がりますが、基本的には暗算1級がほぼ満点レベルで出来ていれば、段位でも1番から20番まではそれほど苦勞なく進んでいけます。ただし、最初に少し手間どるのが小数問題。ここでは「かけ算」の小数問題のやり方を簡単に説明します。

(例1)  $51 \times 0.86 \dots$  普通に  $51 \times 86$  の計算をすると 4386。51 は整数が 2 ケタ、0.86 は整数が 0 ケタなので、2 ケタ + 0 ケタは 2 ケタ。従って 4386 の上から 2 ケタ目に小数点を付け 43.86 が答えとなる。

(例2)  $32 \times 1.4 \dots$  この場合もまず  $32 \times 14$  を計算し 448 を求める。32 は整数 2 ケタ、1.4 は整数 1 ケタなので本来なら整数 3 ケタになるが、この場合は先頭同士のかけ算 ( $3 \times 1$ ) は「が」のつく九九なのでマイナス 1 ケタとなる。答えの整数は 2 ケタになり、44.8 が正解。

- \* 繰り上がるケースなどの例外はあるものの、基本的にはこの方法で三段あたりまでは十分に目指せます。
- \* 最初は戸惑うかもしれませんが、多くの問題に触れていくうちにその都度、整数のケタ数を考えることなく問題を見ると瞬間的に小数点の位置が分かるようになります。

✓ 次回の全珠連検定試験(3級以上)は令和8年3月22日(1~3級あんざんは16日&17日)